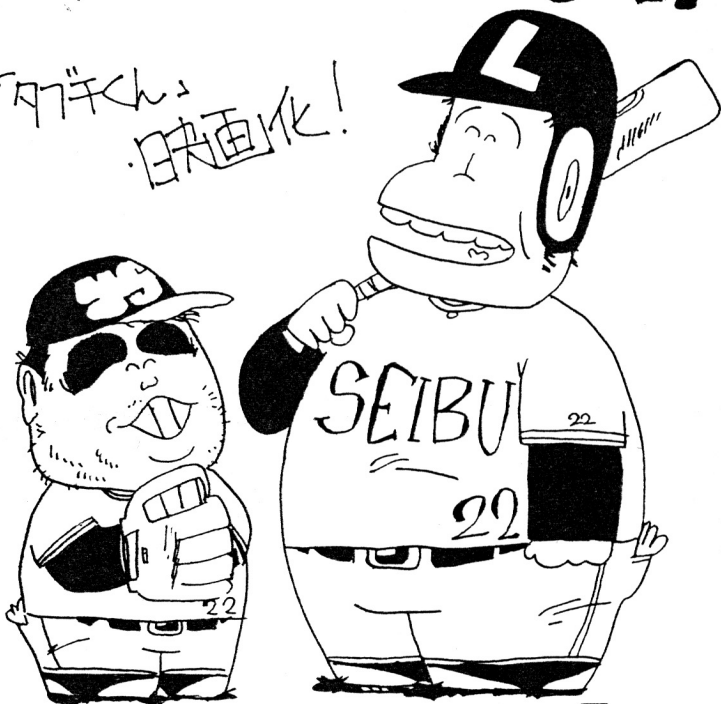


神功新聞

「タチキーン」
日映画化!



いいひさし ファンクラブ 仲野社 **U.O.1** 準備号

ごまごま

おのれが、本当におかしくお待たせいたしました。やれと当りしおにげで下り仲野君も活動を開始します。

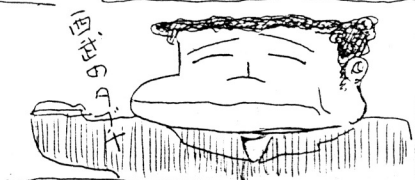
さて仲野君の名の由来はと申しますと、これは「ハイパー」の住んでる「パー」の名前にちなんだでつけたのです。また「ゴキブリ新聞」というのは、「いしひさし」が先住が漫画ギャングに連載して、「ゴキブリ新聞」でその実情を暴露したのです。また「ゴキブリ」のまんに「ゴ」は「く」長くつづいてほしいという願いもこめられております。この会誌は会員のみなさまに情報を提供するものと

と、会員相互の交流を目的としております。みなさんごぞろい意見、ご希望をおかけください。さてでは、ごきり新聞の発行をよろしくお願いいたします。



昭和49年11月1日
初代 仲野世管理 人
太田 忠一朗

編集後記 11
募集のお知らせ 11



このカットは 岡山佳世さんの作品です

もくじ

ごきり新聞 2
タチくん映画化特集 3
がむらタチくん
仁テニシ漫画まかり通る? 7
いしひさし単行本リスト 7
再録
謎のバカ家いしひさし 8

タチくん映画化



特集

●3億円の巨費！
ついに実現した
1000万フアンへの夢！

いま、ヤングからサラリーマン、OLたちを爆笑の渦に巻き込んでいっているいしひさし原作が、はなれタチくんが、ついにカラ・アニメーションになった。日本全国1000万ファンを、さらに強烈にアニメミックに熱狂させる。現在、「週刊漫画アクション」で連載中だが今まで2冊の単行本が出版されており、いずれも100万部を突破する売れゆき。さしずめ漫画界のホームラン王といったところ。このベスト・セラー漫画を、構想1年、8ヶ月の製作日数、3億円の巨費を投じ、4万1000枚のセル画と825人ものスタッフでついに、映画化に成功したのである。

●超一級スタッフがつ
「タチくん」に挑んだ！

声の出演はタチくんに、コメディアンとして異色の人気を誇る西田敏行。その基ミコに「木」である。その他、内海賢二などが特異なキャラクターに挑み、アテレコ中にスタッフの吹き出しでNGを連発するほどにノリよう。

製作は「ベルサイユのばら」太陽を盗んだ男」をプロデュースして各界に話題を呼ぶ山本又一朗と藤岡豊が共同で当った。

監督に「天才バカボン」などを手がけた芝山努。脚本は日本アニメ界の第一人者、辻真先を始めとする一流ライターが執筆。音楽は乾裕樹。主題歌をクレイジー・パーティーが歌っている「巨人の星」などのアニメ界の雄、東京ムービー新社の製作で、原作がもつ愉快な風刺をアニメーションの画面にエスカレートさせた。

●9イニング90分！

ギャグ満載の新方法
マルチアウターメーション
1話10分完結で9話、つまり9イニングから9イニングまで各々が独立性をもたせてある。途中から入場しても十分に楽しめるという画期的な新方式だ。ギャグ、またギャグ。笑いっぱなしで最終イニングへ突入。延長戦はないのかという声もあるほど。4コマ漫画を初めて劇場用アニメーションにするという至難に挑んだ努力の結晶が、見事に開花したのである。



原作いしひさし
漫画アクション(株)

●好評前売中●

●一般券1000円●学生券900円
●平日一般1300円 学生1100円を要●

11月上旬ロードショー

●新開会館内劇場	●森小路シネマ	●アセントラル	●東宝シネマ2
●京極東宝	●昭栄シネマ	●アロロエ	●セントラル
●新開会館内劇場	●森小路シネマ	●アセントラル	●東宝シネマ2
●京極東宝	●昭栄シネマ	●アロロエ	●セントラル

いいひさいちさん 28

笑いの陰に隠された 超マジメな生活を直撃



「タブチる」タブランなる流行語をご存知!? 太る。タブチのランニング・ホームランは絶対不可能というイミで、出典は「がんばれ! タブチくん!」というマンガ。作者は大阪在住のいいひさいちさん。なぜか大のインタビュール写真嫌いで、マスコミ泣かせの謎の人物。だが、あ



えて本誌は「タブラン」に挑戦、ついに、その素顔をガキッとつかまえた!

とにかく、「タブチくん」はチとは元阪神タイガーマッタヤら面白い、ス、現西武ライオンズの説明するまでもないが、タブのストラッカー田淵幸一

人気爆発「ガンバレ!! タブチくん!!」

●映画化も決定…

独占初公開



選手の間。

その彼がやためのユニフォーム姿で登場しては、徹底的に笑いのネタを提供しちゃう。たとえ「タブチ日本へ金銭トレードか!? キロ20円」と新聞で書かれアタマにきたタブチ。じゃきというのはいわゆる、と、奥さんの差し出す新聞の目出しが「すでに合意? タブチ(阪神)も電車5台(南海)と書かれていたり、「超大型トレード!! タブチ(阪神)と花巻野郎」の新聞に「ぼつとけぼつとけ」と輪島が動かないのに、タブチはグラウンドで早くもシコを踏む「といったものなど、野球ファンだ

心やさしき友だち。コチヤネルゼロのマンガ。けでなく、女高生、女子大生までがキマキマ喜んで、流行語にしちゃったくらいなのだ。早速、仕掛のいいひさいちが注目されたが、なにせ「性分に合わない」と、これまでマスコミに登場したのは、某男性週刊誌のグラビア記事1回こっきり。それさえ「ぼく、だまされて出たんや」という徹底ぶり。今回も「インタビュー困ります。写真もスカン」というところまで、やっとこさ納得しての、初登場となった。

一部アンの間に「表面に出てこないのは、タブチ以上のタブチだからでは……」なんて憶測もあつたが、なかなかの二枚目と、西のはらたいらといったところ。訪ねたのは大阪・吹田の4階建て2DKマンション。「部屋が散らかってるんだ、ヨ」に出まかせんかと、近くの喫茶店で聞きかした簡単なプロフィール——。生まれは岡山県玉野市で、51年(昭和26年)9月2日。神戸の高校を出て、関西大学社会学部に入った。マンガを描きはじめたのは神戸の高校時代。「当時あつた『COM』に投稿したんです。読者欄に載った時

はうれしかったでんね」マンガに熱中したせいではないだろうが「狙っていた」3の有名学に落ちこちて、すべり止めの関大だけ受けちゃったんです。しかし、人間ナニが幸いするかわかない。関西大学のマンガ研究会を通じて、2年目からカットなどをアルバイトで描きながら、貧民共和国は、大阪市東淀川区のアパート。「3畳ひと間のスラムですわ」というアパートの「国民」は、季節労働者、ヤーさん、そして貧乏学生。麻雀でもやろうもんなら「うるせえ」とヤーさんがのり込んでくる。「ある日、ヤーさんがきて、これやってみいよ、と白い粉を持ってきた。恐いからよ断りしかれず貰ったが、さて中身がわからん。理工学部の子たちに分析を頼んだが、いいかげんな奴で、うわからん。あれは多分ドラッグかなんかだったんだろなあ」とそんなアパートに投書ししながら、血洗い、郵便配達、食堂のボーイなど、あ



始め、関西の「日刊アルバイト情報」に4コマのマンガ「バイトくん」を連載することになった。「別」タブチ家になる気ななかった。描けば金が入るのが面白くて、当時のぼくの生活を描いたんですわ。「バイトくん」はぼくは自伝です。あの頃はひと所に住んだこともなかった。貧民共和国、やった。ちるるバイトをやりながら「バイトくん」を描き続けた。「本人は「思心地がよかったもんで」と言うけれど、気がついていたらなんと大学6年生というのだからマンガ的。「卒業の時、安定した職業を岡山県のある市役所の試験を受けるつもりだったんです。でも当時すでに10万円ほどの稼ぎがあったし、市役所に入っても大差ない。それなら上司のこまけらぶで描いているのが受けたんでしょね」連載がスタートするとバカ当り、すでに単行本になった。2巻で10万部というベストセラーになっちゃったのだ。当のいいひさいちさん、この「バイトくん」は、いいひさいちの自画像に近い

個人通信!

ただ今
会員募集中
50円切手同封の上
FC本部へ!!

